

- 山形県の基幹的農業従事者のうち、40歳未満の女性農業者はわずか1%程度。**地域農業活性化のため若い女性農業者の育成と経営管理能力の向上**が必要。
- 若い女性農業者は孤立しがちで、**生産現場で女性が一層活躍できる環境づくりを支援し、女性の農業分野における活躍の促進**が必要。
- **女性限定の次世代リーダー育成セミナーを実施。**
- 女性農業者(11名)が**ビジネスプランを作成。経営力・営農意欲が向上。地域における仲間づくりが進展。**

具体的な成果

1 女性農業者のビジネスプランの作成による経営力・営農意欲の向上

- 女性農業者のビジネスプランの作成を支援し、11名がビジネスプランを作成。プランの実現に向けた実践支援を通し、将来の地域農業をリードする役割を担う女性農業者の経営力・営農意欲が向上。



2 女性農業者が活躍できる環境整備

- 地域ごとの交流会を開催し、地域内で気軽に悩みを相談し合える仲間の認知と交流が促進。多様な労働力確保についての理解促進。



- 県域の女性農業者グループ「やまがた農業女子ネットワーク」が独自の研修会等を企画運営する等、活動が活発化。

普及指導員の活動

令和3～4年

- **次世代リーダー育成セミナーの開催。ビジネスプランの作成を支援**
 - ・講義とともにグループワークや個別演習、「ビジョンコラージュ」の制作等女性が取り組み易い講座の工夫
 - ・先輩修了生の農業現場視察研修
 - ・先進的な経営者のもとで、インターンシップの実施
 - ・女性限定の農業機械管理、操作研修
- **ビジネスプラン実現に向け、総合的な個別支援の展開**
 - ・受講生毎に技術担当と経営担当の普及指導員を配置し、受講生の個別支援を強化。
- **女性農業者の働き方改革支援**
 - ・県内4地域毎に農業女子会を開催。1地域10名程度の小人数で気軽に悩みを相談し合える仲間づくりの場を提供。多様な労働力確保に関する研修を実施。

普及指導員だからできたこと

- ・定期講座を補完する形で、受講生の相談、技術相談も含めた現地指導、ビジネスプランの作成支援等きめ細やかなフォローアップを実施。

次代を担う女性農業者の育成

活動期間：令和3～6年度

1. 取組の背景

山形県の基幹的農業従事者のうち、40歳未満の女性農業者はわずか1%程度であり、地域で若い女性農業者は孤立しがちである。

一方、農業発展のためには、消費者志向を踏まえた生産・販売、加工品開発等、女性ならではの柔軟な発想による農業経営の展開が必要である。そのため、女性農業者の活躍が不可欠であり、経営管理能力の向上を支援するとともに、孤立しがちな女性農業者がつながれる場を創出し、女性農業者が活躍しやすい環境の整備と、活躍を後押しする環境を整えることが必要である。

2. 活動内容（詳細）

（1）次世代リーダー育成セミナーの実施

①アグリウーマン塾の開催

県全域から意欲的に経営に参画している若手女性農業者を募集し、年6回、農業経営の基礎とビジネスプランを作成する講座を開催した。講師は、中小企業診断士に依頼した。

・修了生の取組み事例を紹介し、それを題材にしたグループ討議や個別演習、

「ビジョンコラージュ」の作成等女性が取組みやすいよう講座内容を工夫した。

・新たな生活様式を踏まえ、オンライン研修も実施し、夫婦・家族等での受講も見られた。

・定期講座のほか、オプション研修として先進的な女性経営者の基でのインターンシップを実施した。



②女性限定の農業機械管理、操作研修を開催した。

③普及課では、受講者毎に技術担当と経営担当の普及指導員を支援担当者として配置し、支援体制を整備した。ビジネスプランの作成を支援するとともに、その実現へ向け、総合的な個別支援を展開した。

④現地視察交流研修の開催

塾修了生の園地視察を通じて、修了生同士の交流と経営改善のヒントとなる学びを得るため、修了生向けの現地視察交流研修を開催した。

⑤「農業版戦略マネジメントゲーム研修」の開催

農場経営のシミュレーションゲームを通じて、生産性及び利益を高めるための経営感覚を養うとともに、経営と会計のつながりを理解し、強い農

業、儲かる農業に導くための実践力の向上を図った。

(2) 女性農業者の働き方改革支援

女性が活躍しやすい環境を整えるため、公益財団法人やまがた農業支援センター内に女性のネットワークづくりを支援する窓口を設置。

電話相談のほか、県内各地域において研修会、交流会の開催を通じ女性農業者を支援した。

全体研修会として、「女性が考える多様な労働力確保について」をテーマに、デジタル技術活用による新たな働き方や女性農業者による多様な労働力確保の実践事例などについて学び、グループワークでの意見交換を行った。



3. 具体的な成果（詳細）

(1) 女性農業者のビジネスプランの作成による経営力・営農意欲の向上

11名がビジネスプランを作成し、プランの実現に向けた支援を通じ、将来の地域農業をリードする役割を担う女性農業者の経営力・営農意欲が向上した。若い女性農業者同士の交流が図られ、仲間づくりが進展した。

(2) 女性農業者が活躍できる環境整備

地域内で気軽に悩みを相談し合える仲間の認知と交流促進を図るため県内4地域で農業女子会を開催した。1地域10名程度の小人数で開催したことにより、気軽に悩みを相談し合える仲間がいる安心感、相互研鑽、農業に関するモチベーションが向上した。

多様な労働力確保について学び、女性同士で語り合うことで、働きやすい環境づくりへの理解が深まった。

(3) 女性農業者グループの活性化

アグリウーマン塾の修了生も多数参加する「やまがた農業女子ネットワーク」は、独自の研修会等を企画運営する等、活発に活動を行っている。

4. 農家等からの評価・コメント（天童市 横溝理恵氏）

私がアグリウーマン塾を受講しようと思った動ききっかけは、就農して1年目で、栽培技術や経営について学びたいと思い、受講を決めた。その中でもアグリウーマン塾は名前の通り、女性農業者対象ということで興味を持った。女性ならではの視点や困りごとなど、受講者同士で共有しながら楽しく講義を受け、毎回充実した内容だった。

インターンシップ研修では、私の要望を聞いていただき、これから栽培したいシャインマスカットに絞った内容で研修をさせていただいた。すでに実績のある女性農業者の方のお話を聞けて、大変勉強になった。

農業版戦略マネジメントゲームでは、人生ゲームのような感覚でゲームをしながら農業経営が学べるということで、始めは楽しく進めるが、回を追うごとにみんな必死に経営がうまくいくよう白熱した戦いになって楽しかった。楽しみながら経営が学べて、正直マネジメントゲームが欲しくなった。

さまざまな研修に参加して感じたのは、勉強になったことはもちろんだが、仲間ができたことが一番の財産になったと思う。今でも、受講生の方とは情報交換したり、一緒に研修に参加したりと交流がある。

このような研修を無料で受けることができ感謝している。

5. 普及指導員のコメント（村山総合支庁農業技術普及課 専門普及指導員 佐々木香奈）

アグリウーマン塾は、今後の農業経営に向けた計画作成や経営管理の手法を学びながら、同じ志を持った仲間と交流できる貴重な場となっている。オプション研修のインターンシップでは、受講生と同市の女性青年農業士や過年度修了生の圃場での研修を企画したことにより、地域の女性農業者との繋がりができ好評だった。アグリウーマン塾以外の女性農業者向けセミナーへの参加誘導の結果、様々な方面から自身の経営を考えるきっかけとなり、受講生の営農意欲向上に繋がった。今後も受講生のフォローアップを行い、ビジネスプランの目標達成を後押しできるよう支援していく。

6. 現状・今後の展開等

（1）女性限定の講座の開催を継続

「次世代リーダー育成セミナー」を継続し、女性農業者の経営改善、経営感覚をサポートしていく。さらに、アグリウーマン塾修了生に地域を牽引する女性農業者となってもらうために、ビジネスプランの実行支援を通じて、モデル的な経営体の育成を図り、県内女性農業者の活躍を後押しする環境を整える。

（2）女性農業者の働き方改革支援

引き続き、県内各地におけるネットワークづくりや女性農業者グループ等の活動支援を通し、働きやすい環境づくりに取り組む女性農業者を支援する。